

第70回記念倉吉市美術展覧会 受賞者一覧

特賞 6点

部門	作品名	氏名	住所
日本画	連山湧雲	徳田 三凌	鳥取市
洋画	山陰の暖冬の雲	井之上玉代	三朝町
版画	該当なし		
彫刻	雲	山内 信	大山町
工芸	海鼠袖蓋物	河本 慶	倉吉市
書道	炎暑惟茲夏	妻藤 江葉	倉吉市
写真	追憶の街角	牧野 幹代	倉吉市
デザイン	該当なし		

70回記念賞 8点

部門	作品名	氏名	住所
日本画	冬間近の大山	松田 幸人	琴浦町
洋画	ふるさとの海	谷口 博教	倉吉市
版画	Scrap	ミシマサオリ	倉吉市
彫刻	Void	山田 和之	湯梨浜町
工芸	板造拭漆盛器	宮脇 直子	湯梨浜町
書道	送沙門弘景道俊玄装還荊州応制	小谷 翠香	倉吉市
写真	約束	小林 靖彦	倉吉市
デザイン	残す思い出、創るコレカラ	磯江 希林	鳥取短期大学

市展賞 15点

部門	作品名	氏名	住所
日本画	夜明け	原田 悦子	北栄町
洋画	juicy	徳岡 真菜	倉吉東高校
	大山山系 4月	横山 尚登	倉吉市
	冬の大山（逢東東より）	松本 佳邦	琴浦町
	いのち	北窓 妙子	倉吉市
版画	該当なし		
工芸	斑袖彫丸繫文大皿	谷口 知則	倉吉市
彫刻	該当なし		
書道	塞下曲	本多 花宵	倉吉市
	秦州雑詩	山下 博朋	北栄町
	宣州使院別韋應物	小寺 翠康	倉吉市
	送友人	福田 華淞	三朝町
写真	光と影の迷宮	井上 英明	北栄町
	撮るよ！	塚本 裕行	北栄町
	にわか雨	清水 節子	湯梨浜町
	青の刻	山本 善仁	三朝町
デザイン	あふれる可愛さ	松原 実希	倉吉東高等学校

奨励賞 18点

部門	作品名	氏名	住所
日本画	紅葉のころ	藤田 睦子	北栄町
洋画	溪流の唄	梅田 寿彦	湯梨浜町
	トウメイナセカイ	杉本 太一	倉吉東高校
	模倣	岡田 心詞	倉吉東高校
	ひとやすみ	小椋 朱華	倉吉東高校
版画	浅春	栗原 誠子	倉吉市
	しだれ桜薫る	石脇 正江	倉吉市
彫刻	模刻～ヴィーナスの春～	坂田 良江	倉吉市
工芸	蠟抜蔓草文壺	谷口 博教	倉吉市
	張説詩	石塚 紀朋	倉吉市
	悲喜	木村 春翠	北栄町
	紫宸殿退朝口號	深田 幽春	倉吉市
写真	湖口望廬山瀑布水	中原 隆富	琴浦町
	米子城	上田福美雄	倉吉市
	空中遊泳	河野 誠	琴浦町
	モッコクの印像	秋田 芳郎	湯梨浜町
デザイン	飛鳥へ続く道	森本 裕	倉吉市
	慈悲（准胝観音菩薩）	松原 文夫	倉吉市

【令和7年度】

## 第70回記念倉吉市美術展覧会開催要項

### 1 趣 旨

倉吉市ならびに中部地区の人々の幅広い創作活動の発表の場として美術展覧会を開催し、美術活動の振興を図るとともに、文化芸術活動の発展に寄与する。

### 2 主 催

倉吉市教育委員会

### 3 後 援

三朝町教育委員会、湯梨浜町教育委員会、琴浦町教育委員会、北栄町教育委員会

### 4 部 門

日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン

### 5 会 場

倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館

### 6 会 期

■前期 令和7年6月15日(日)～6月29日(日)

日本画・工芸・書道・デザイン

■後期 令和7年7月6日(日)～7月20日(日)

洋画・版画・彫刻・写真

前後期  
とも

平日、日曜日：午前9時～午後5時（ただし入館は午後4時30分まで）

金～土曜日：午前9時～午後7時（ただし入館は午後6時30分まで）

### 7 応募資格

中部地区在住もしくは勤務・在学する人、並びに中部地区の団体に所属している人。及び、中部地区出身で現在他地区に在住の人。ただし、中学生以下は除く。

### 8 作品審査

応募作品の審査は、倉吉市教育委員会の委嘱した各部門の審査員があたる。

### 9 陳 列

各部門の入選作品並びに無鑑査作家、招待作家、審査員の作品を展示する。作品の陳列は各部門の審査員により行う。陳列場所の希望等は受け付けない。

### 10 運 営

倉吉市美術展覧会運営委員があたる。

## 11 搬入

倉吉博物館収蔵庫搬入口 ※部門ごとに搬入時間が異なりますのでご注意ください。

搬入日	部門	搬入時間
令和7年6月1日(日)	日本画・書道・洋画・版画	午前9時～正午
	工芸・デザイン・彫刻・写真	午後1時～午後4時

## 12 搬出

倉吉博物館収蔵庫搬入口 ※部門ごとに搬出時間が異なりますのでご注意ください。

搬出日	部門	搬出時間
令和7年7月27日(日)	日本画・書道・洋画・版画	午前9時～正午
	工芸・デザイン・彫刻・写真	午後1時～午後4時

## 13 出品料

一般・無鑑査 1点につき 1,000円 (ただし、高校生・学生は無料)  
 審査員 1点につき 1,000円

## 14 応募規定

- (1) 作品は自己が制作したもので一部門につき一人2点以内とし、すでに県内の公募展で発表済みの作品は除く。ただし、同一人が複数部門に応募することは可能。共同制作した作品は、応募することは可能だが、賞の対象とはならない。
  - (2) 著作権・肖像権等の問題が生じないよう十分注意し出品すること。
  - (3) 規格 各部門とも額装にガラスを使用しないこと。また、ガラスケースに納めた作品も受け付けない。なお、規格外の作品、額又は枠の不完全な作品及び生乾きの作品は受け付けない。
- 〈日本画〉額装とし、10号～120号。ビニール、アクリル張りは不可。
- 〈洋画〉額装とし、10号～120号。ただし、厚みは20cm以内、ひし形作品は対角線の長さを194cm以内とする。
- 〈版画〉額装かパネル張りとし、100号以内。
- 〈彫刻〉重さ100kg以内とし、幅2m、高さ2m、奥行1.5m以内とする。
- 〈工芸〉縦、横2m以内とする。ただし、着尺は除く。
- 〈書道〉半切(35cm×136cm)～全紙(70cm×136cm)の作品は縦横自由。2×6尺(60cm×180cm)～尺8(53cm×234cm)の作品は縦のみとする。また、篆刻も額装とし、額装を含めて縦50cm×横40cm以内とする。( )の寸法は用紙サイズ。額装はアクリル張りとし、軸物は不可。なお、全ての作品について所定の釈文用紙に釈文を記載し、作品搬入時に提出すること。(釈文用紙にパソコン等で打ち出した紙を貼付けしたもので可)
- 〈写真〉枠張り又は額装とし、枠張り又は額装を含めて40cm×50cm以上、かつ、100cm×200cm以内の長方形又は正方形で、壁面に容易に展示可能な仕様であること。連作及び組み写真は1点とみなして同様の規格内に収める。
- 〈デザイン〉B1全紙(103.0cm×72.8cm)以内とし、立体は1m以内とする。

## 15 審査会

### (1) 審査員（敬称略・五十音順）

部 門	審査員名
日本画	中川端月 / 宮本京花 / 村岡昭巳
洋 画	足立純子 / 磯江ちづる / 門脇博 / 谷繁享子 / 山内信 / 山下聖二 / 山田和之
版 画	桑田幸人 / 近藤正徳 / 計羽孝之 / （外部審査員）
彫 刻	朝倉和博 / 永江靖幸
工 芸	山本佳靖 / 吉田公之介 / 小原雅也
書 道	生田翠龍 / 岩垣若翠 / 木村香翠 / 名越蒼竹 / 引田恵華 / 光村松華 / 徳岡翠江
写 真	川崎俊行 / 松原幹夫 / 山田直人 / 山脇賢治
デザイン	小松亜希恵 / 佐伯明美

### (2) 審査会は下記の日程で行い、審査の透明性を高めるため公開とする。

月日	[午前9時半～] 部門	[午後1時半～] 部門
6月 4日 (水)	日本画・工芸	書道・デザイン
6月 5日 (木)	版画・写真	洋画・彫刻

### (3) 審査会見学の申し込みは、5月26日（月）までに下記のいずれの方法かで行う。

倉吉博物館受付にて直接申込、[電話] 0858-22-4409 、[FAX] 0858-22-4415  
[E-mail] k-museum@city.kurayoshi.lg.jp

### (4) 審査の公開について

- ・見学を希望する部門、氏名、住所、電話番号が必要。
- ・定員は各部門20人、応募者多数の場合は抽選とし、申込をしていない者の見学には応じない。
- ・誓約書の記入が必要。

## 16 表彰

応募作品のうち優秀な作品に対し、次のとおり表彰する。

### (1) 無鑑査に授与する賞

特賞(各部門1点) 無鑑査作品の中から選考し、賞状と副賞を贈る。

### (2) 一般に授与する賞

- ① 70回記念賞 70回を記念し、各部門の入選作品の中から1作品を選考し、賞状と副賞を贈る(賞の位置づけは市展賞と同じとする)。
- ② 市展賞 各部門の入選作品の中から選考し、賞状と副賞を贈る。
- ③ 奨励賞 各部門の入選作品の中から選考し、賞状を贈る。

## 17 開会式

令和7年6月15日(日) 午前10時～ 場所 倉吉博物館ホール  
終了後に前期部門のギャラリートークを行う。

## 18 表彰式

令和7年7月6日(日) 午前10時～ 場所 倉吉博物館ホール  
終了後に後期部門のギャラリートークを行う。

## 19 審査員トークイベント

いずれも午後2時～3時・申込不要

日時	部門
6月21日(土)	日本画・工芸
6月22日(日)	書道・デザイン
7月12日(土)	写真・版画
7月13日(日)	洋画・彫刻

## 20 入館料

無料

## 21 その他

- (1) 作品の展示・保管には万全を期すが、天災その他不慮の事故等による損害に対しては、主催者はその責めを負わない。
- (2) 作品に撮影禁止のマークが表示されている場合を除き、写真を撮影することができる。なお、撮影する場合、他の観覧者に迷惑となるため、フラッシュ、三脚等を使用することはできない。
- (3) 出品目録等への住所の表記は市町名のみとする。
- (4) 作品陳列は倉吉市美術展覧会運営委員会が行う。

## 事務局

倉吉市仲ノ町 3445-8 倉吉博物館 (電話 0858-22-4409/FAX0858-22-4415)

- 出品される方は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次のとおりご協力をお願いします。
- ・搬入出される方は事前に各自検温を行い、37.5度以上の発熱のある方の搬入出はお控えください。
  - ・出品者の大人数での参集、密集、密接を避け、対人距離の確保に努めてください。
  - ・搬入出では密集を避けるため、係員の案内に従い、搬入出を行ってください。